

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	赤穂市児童発達支援事業 あしたば園		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		2026年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は清潔に保てており、利用者の活動に合わせたスペースが十分確保されている。常に心地良い空間で過ごせるよう環境が整えられていること。 ※保護者アンケートでも41名中、全員が「はい」と回答した。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が親子共に安心して過ごせるよう保育室をはじめ、個別の部屋、機能訓練室、カウンセリング室等状況に応じ、利用できる部屋を確保している。 ・様々な場面で、利用者が何をすべきか分かりやすいよう情報や環境を整理し、視覚的に分かりやすいよう構造化に取り組んでいる。 ・清掃については業者に委託し、1日2回、室内の清潔保持に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・混み合う空間が苦手な子どもに配慮し、子ども用トイレだけでなく、多目的トイレに補助便座を設置して使用できるようにしたり、乳児のおむつ交換に別室を確保したりといった工夫をさらに充実させる。 ・利用者の年齢に関係なく、情動に働きかけるような立体壁面等を季節ごとに充実させる。
2	利用者の良さや強みを理解し、かかわろうと努めていること。 また、家庭での育児ができることを提案するよう努めていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のことを多角的に理解できるようにするため、各分野において職員研修を実施し、最新の情報や手法をブラッシュアップしている。 ・また、保護者からの主訴内容や、個別に相談があった場合は、家庭でできる関りを提案し、同じ方向性で関りが持てるようサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者、保護者ともに、当園を利用して生活が豊かになったと感じてもらえるような支援と提案ができるよう研鑽を積む。
3	保護者の悩みに丁寧に寄り添い、専門的な助言をしていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤で2名の言語聴覚士を配置している。その他、理学療法士(2回/週)、作業療法士(2回/月)等、専門職が、様々な方向から、利用者アプローチし、サポートしている。 ・外部講師による個別の教育相談や心理士によるカウンセリングも定期的に実施し、全体で年間20回以上の様々な相談の場が確保できている。 ・日頃の育児相談については、随時職員が対応し、切れ目のないサポートを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、利用者や保護者のニーズに応えられるよう研鑽を重ねるとともに、外部講師の充実にも努める。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			